

平成 30 年 1 月 21 日 (日)
14:00~16:00
東京大学本郷キャンパス法文 2 号館
文学部教員談話室

言語/文学委員会：人文学の国際化と日本語分科会 第 1 回議事要旨

出欠 (出席者○印)

窪園晴夫・○桑原聡・○田口紀子・○竹本幹夫 (文責)・○巽孝之・○沼野充義・○日比谷潤子・○平田昌司・松森晶子・○吉田和彦・○米田信子

議題

1 挨拶

分科会世話人である吉田和彦委員が司会となり、全員の自己紹介の後、本日の議事につき下記の通り進められた。

2 委員の選定

互選により下記の通り決定された。

委員長 竹本幹夫

副委員長 窪園晴夫

幹事 桑原 聡

米田信子

3 今年度活動方針

(ア)「翻訳院」(当時の正式名称：人文社会系学術図書翻訳出版センター)について、なるべく早期に情報収集を行い、当時この構想の責任者であった先生を次回の分科会に招待する可能性についても検討する(謝金支出前提)。

(イ)日本語による国際的な情報発信や外国文献の日本語への翻訳、すなわち研究対象となる言語への対応の問題、海外における日本発信の学術情報の普及の問題、日本における海外研究情報の普及の問題等々につき、日本語のあり方の再検を含む、国の「言語政策」のあるべき姿について提言を行うことを目指す。

(ウ)上記イに関連して、各専門分野で翻訳や国際発信の問題、もしくは国際交流の実態につき、一人15分見当でお話し頂き、それに基づき毎回議論を重ねることとする。

(エ)次回は、窪園晴夫委員・桑原聡委員・沼野充義委員のお三方にお願いする。

4 次回日程

7月28日(土)15:00~17:00(予定)

於 東京大学本郷キャンパス現代文芸論研究室会議室(予定)

5 その他

(ア)メーリングリストの作成を桑原委員に委嘱することとなった。

(イ)14:20~15:40の分科会の前後に、合同分科会が行われた。前半は言語・文学委員会委員長及び分科会世話人の自己紹介、後半は各分科会報告と委員長の挨拶に続き、全員の

自己紹介があつて解散となった。

以上